

予報期間 2月6日から2月12日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 8日は、日本付近は冬型の気圧配置が強まる。
- 9日は、高気圧が東シナ海に移動して、冬型の気圧配置は西から緩む。
- 10日は、高気圧が日本の東へ移動する。
- 11日は、気圧の谷が日本付近へ進み、高気圧が華中東岸に移動する。
- 12日は、低気圧が千島の東に進み、高気圧が東シナ海に移動する。

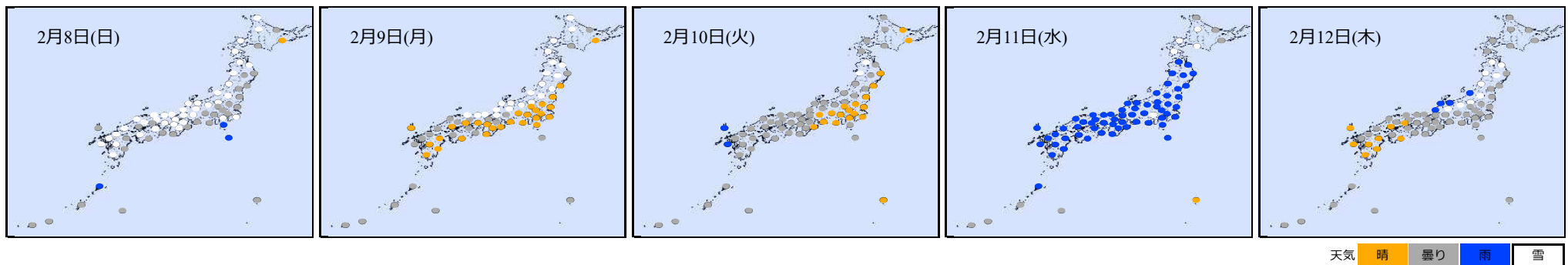
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 8日は、強い寒気の影響で北日本から西日本にかけての日本海側を中心に大雪となり、寒気の程度によっては警報級の大雪となる可能性がある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

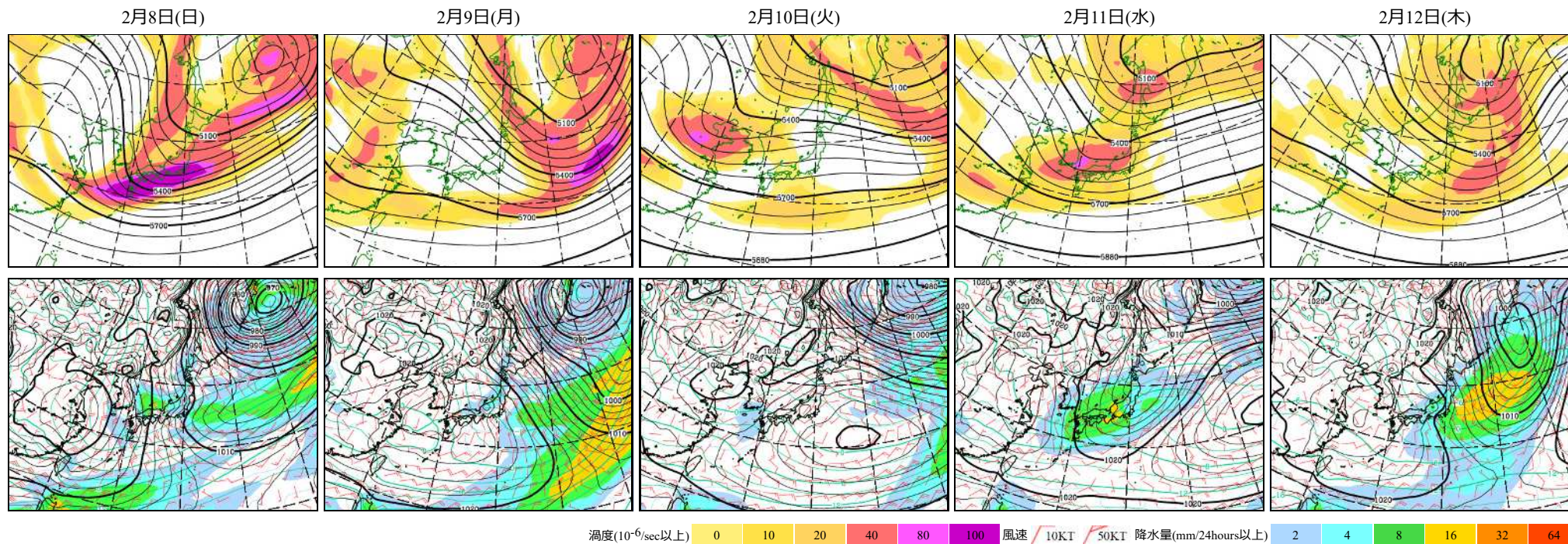
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

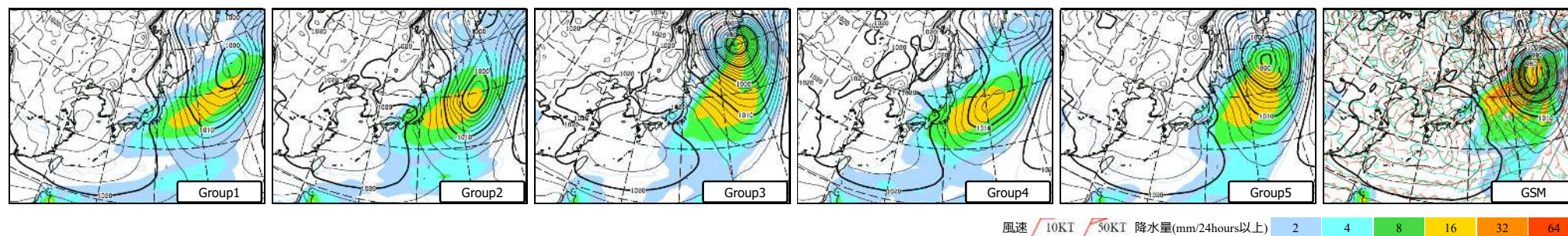


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、曇りまたは晴れの日が多いが、8日は雪または雨の降る所があり、11日は雨の降る所が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、8日と11日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆2月12日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、8日は日本の南の気圧の谷が深くなった。9日はカムチャツカ半島付近の低気圧が強くなり、東シナ海の高気圧も強くなった。10日は日本の東の高気圧が強くなった。11日は日本付近の気圧の谷が深くなった。
- 降水確率ガイダンスの値は、9日に西日本で高くなり、11日に東日本から西日本で高くなった。
- 10日まではモデル間の差は小さい。11日から12日にかけて本州付近から千島の東に進む低気圧の位置にはモデル間の差があるが、11日に北日本から西日本に広く降水を見込む予想はモデル間で差が小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。